

## 生駒市市政顧問が従事した職務の遂行に係る情報

議 題	住宅施策
日 時	令和6年7月 10日(水) 10:30 ~ 12:20
場 所	特別会議室ほか(藤沢市政顧問はオンラインで参加)
出 席 者	市政顧問 市長、副市長 都市整備部長、住宅課長、同課課長補佐、建築課長 経営企画部長、企画政策課企画官
主 な 意 見 (概要)	<p>○生駒市の住宅政策の概要及び空き家対策、マンション施策の取り組み状況等を説明。</p> <p>○顧問の主な意見は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策の効果的なPR方法は、誰に対してPRするのかによって異なる。恋文不動産の取組を広くPRしたいのであれば、現状をもう少し掘り下げておく必要がある。</li> <li>・ニュータウンの空き家物件については、まず地域で活用方法についての議論があっても良い。</li> <li>・空き家をどう活用するのかについて、先進的な取組をしている人を集めて意見交換してはどうか。地域住民の生活に必要なサービスを受けられる場所に活用するなど、将来を踏まえて考えてみるのも良い。議論することで、地域をもっと便利にしたい、豊かにしたいと思って、地域での活用まで話が進むこともあるのではないかと。</li> <li>・空き家プラットフォームの取組については、職員がきめ細かな対応をして空き家の数が減少したことをPRしても、他の自治体からの問い合わせが多くなるだけ。中古物件を購入する年代層に届けたいのであれば、SNS などを使ったターゲットマーケティングが必要になる。</li> <li>・生駒市の空き家対策の取り組みは、非常に価値がある。ライターに職員のきめ細かな対応などを聞き取りまとめて書いてもらってはどうか。</li> <li>・発信については、広報担当などが横断的に自治体をPRするほうが効果的。PRコンサルタントの活用も検討してはどうか。</li> </ul>